

ここから、**こころ**つながる。

周南市

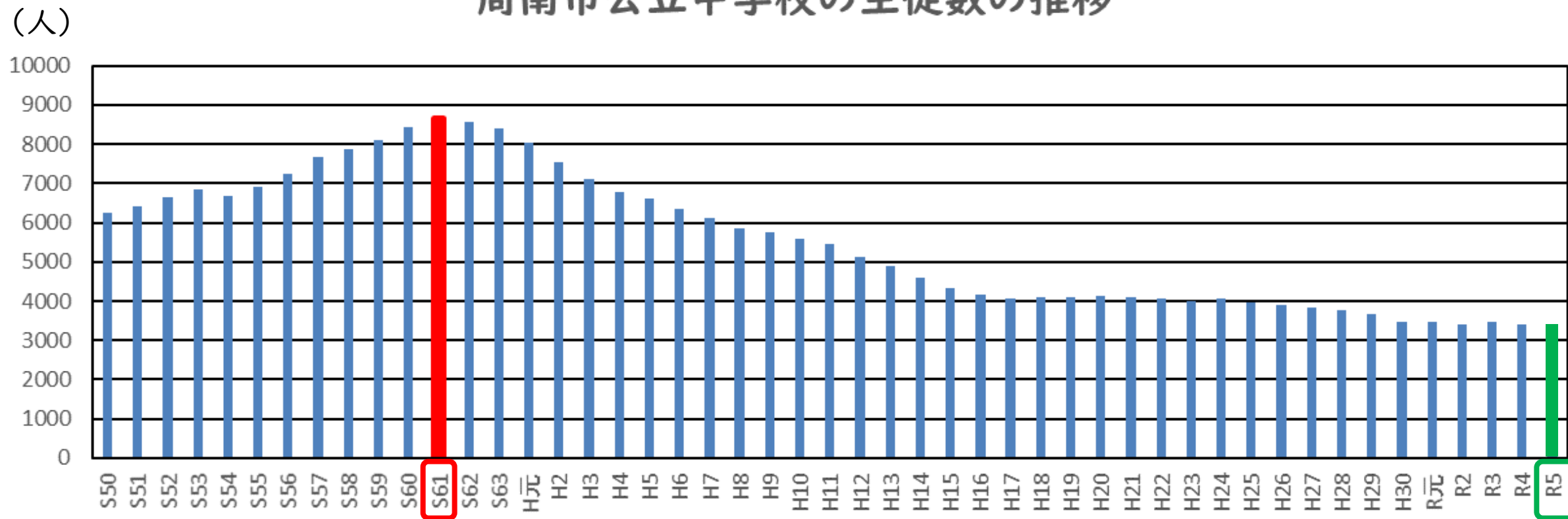
周南市の部活動改革について

R7. 3. 17

周南市の生徒数の推移

2

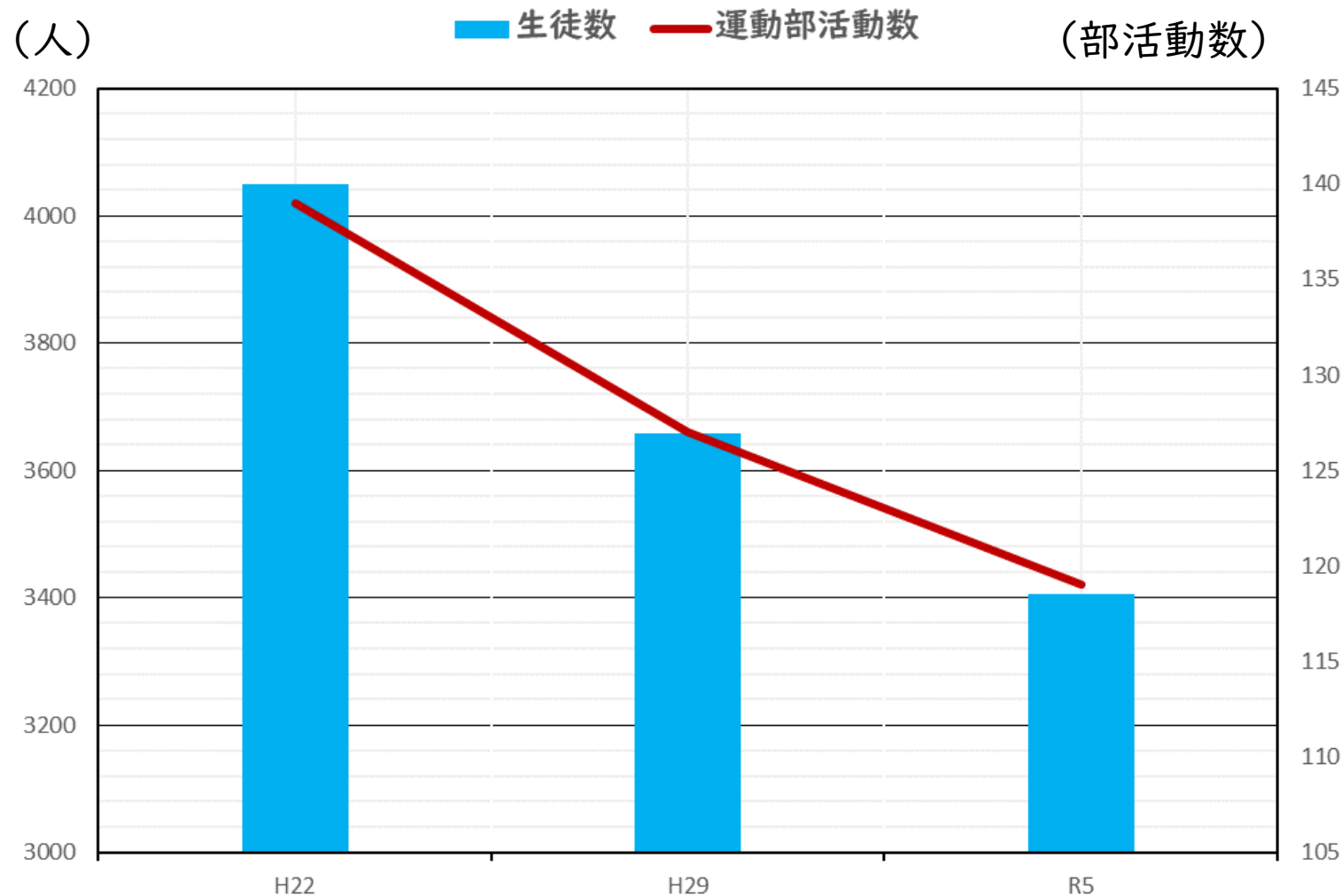
周南市公立中学校の生徒数の推移



周南市の生徒数は、昭和61年度は約8,660人でしたが、令和5年度は約3,400人に減少しています

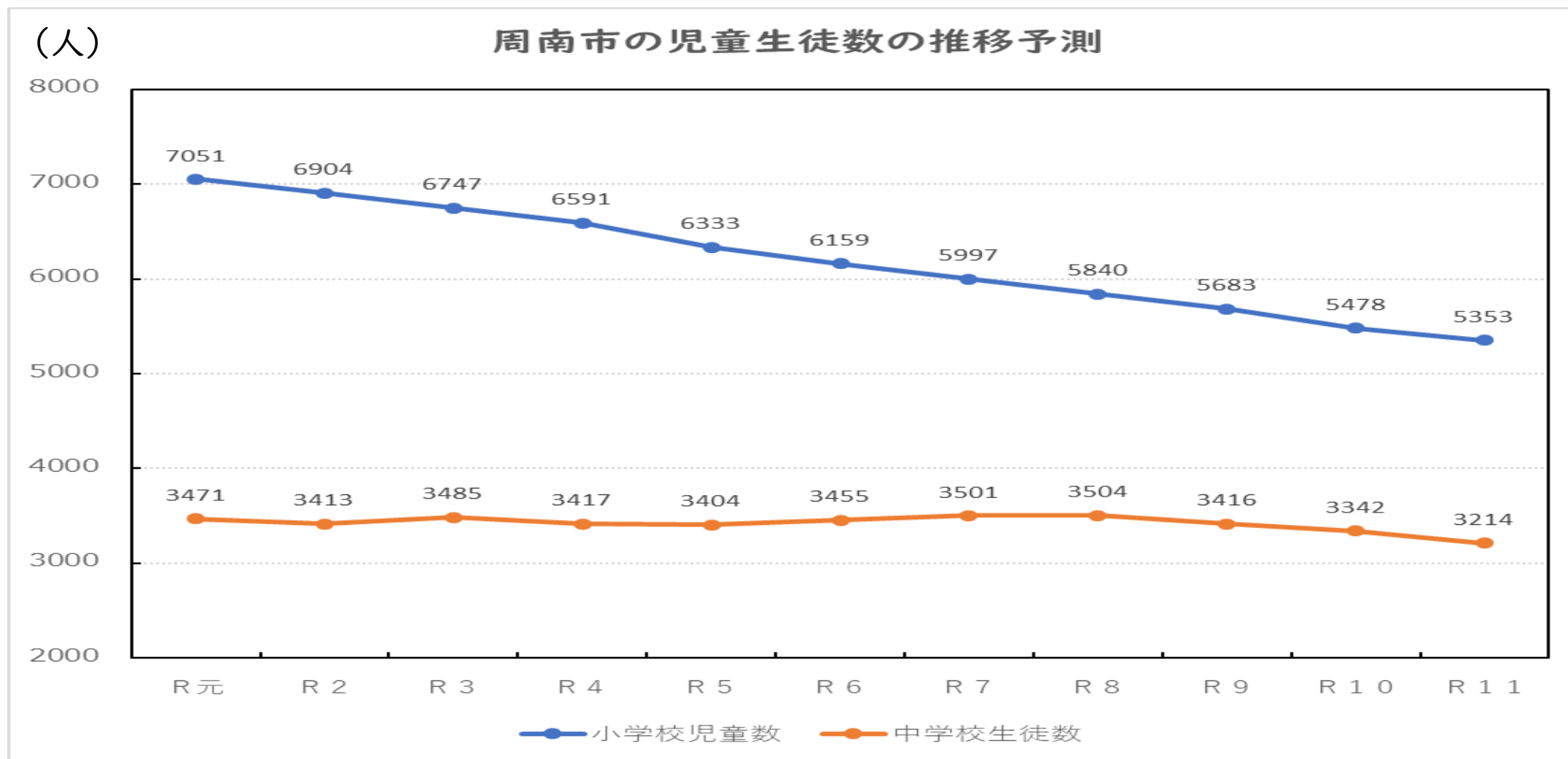
中学校生徒数と運動部活動数の変化

周南市公立中学校の生徒数と周南市運動部活動数の変化



さらに、平成22年度から令和5年度にかけて、生徒数は約650人減少し、周南市全体で20もの運動部活動が廃部となっています

周南市の生徒数の推移予測



学校教育課「令和5年度末 児童・生徒数 将来推計」参照

令和8年度から 市内全域を対象として 平日、休日を一体とした 新たな活動が始まります



学校部活動の終了について

2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
学校部活動 →				→
小6	中1	中2	中3	
※中学3年生は最後の大会、発表会等までは、学校の実状に応じて学校部活動は継続されます ※終了時期は学校、部活動によって変わります				
小5	小6	中1	中2	
小4	小5	小6	中1	
学校部活動以外の活動 →				周南市地域クラブ活動

※中学1・2年生の募集は、学校の実状に応じて停止時期は異なります。
※中学1・2年生の活動は、中学3年生の最後の大会、発表会等までとなります。その後の学校部活動としての活動はありません。



周南市では、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続して親しみ、楽しむことができる環境づくりを進めています。

周南市地域クラブの基本方針

「やってみたい」

市内すべての中学生の
「やってみたい」に応え
られる環境づくり

「多様性」

多様な地域で、多様な
世代とともに、多様な文
化芸術・スポーツ活動
等への参加が可能な環
境づくり

「地域の居場所」

中学生の居場所の
ひとつとなる環境づくり

今後の中学生の放課後や休日の過ごし方

7

文化芸術活動



スポーツ活動



地域の民俗芸能活動



- ※習い事を続けることもできます
- ※新たに始めることもできます
- ※自由にチャレンジできます

学習



ボランティア活動



【活動例】 Aさん

月	火	水	木	金	土	日
サッカー	サッカー	—	サッカー	サッカー	サッカー	—

Bさん

月	火	水	木	金	土	日
バスケ	書道	地域芸能	—	—	バスケ	—

部活動改革後の中学生の活動場所や活動時間帯

8

それぞれが活動 場所へ移動



活動時間(例)

平日夕方

平日夜間

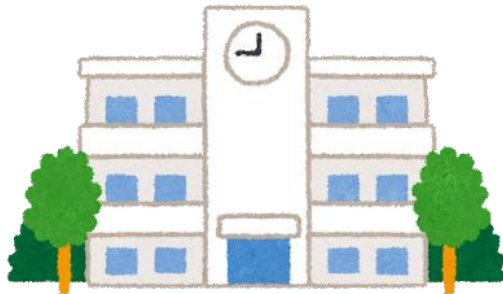
休日午前

休日午後

休日夜間

活動場所(例)

学校施設



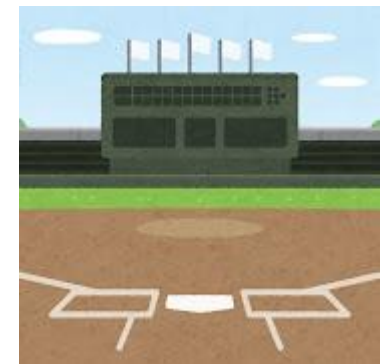
公共のスポーツ・
文化芸術施設



社会教育施設



地域団体・民間事業者
が有する施設



「学校部活動」から、「周南市地域クラブ」へ

令和8年度に、従来の学校が主体として管理運営してきた「**学校部活動**」を廃止し、新たに公益財団法人周南市文化振興財団及び公益財団法人周南市スポーツ協会が設置する「**かるちゃあサポートセンター**」「**スポーツ活動サポートセンター**」を事務局とする文化芸術・スポーツ団体や学校、地域住民、行政等が一体的に取り組む体制へ移行します。

事務局

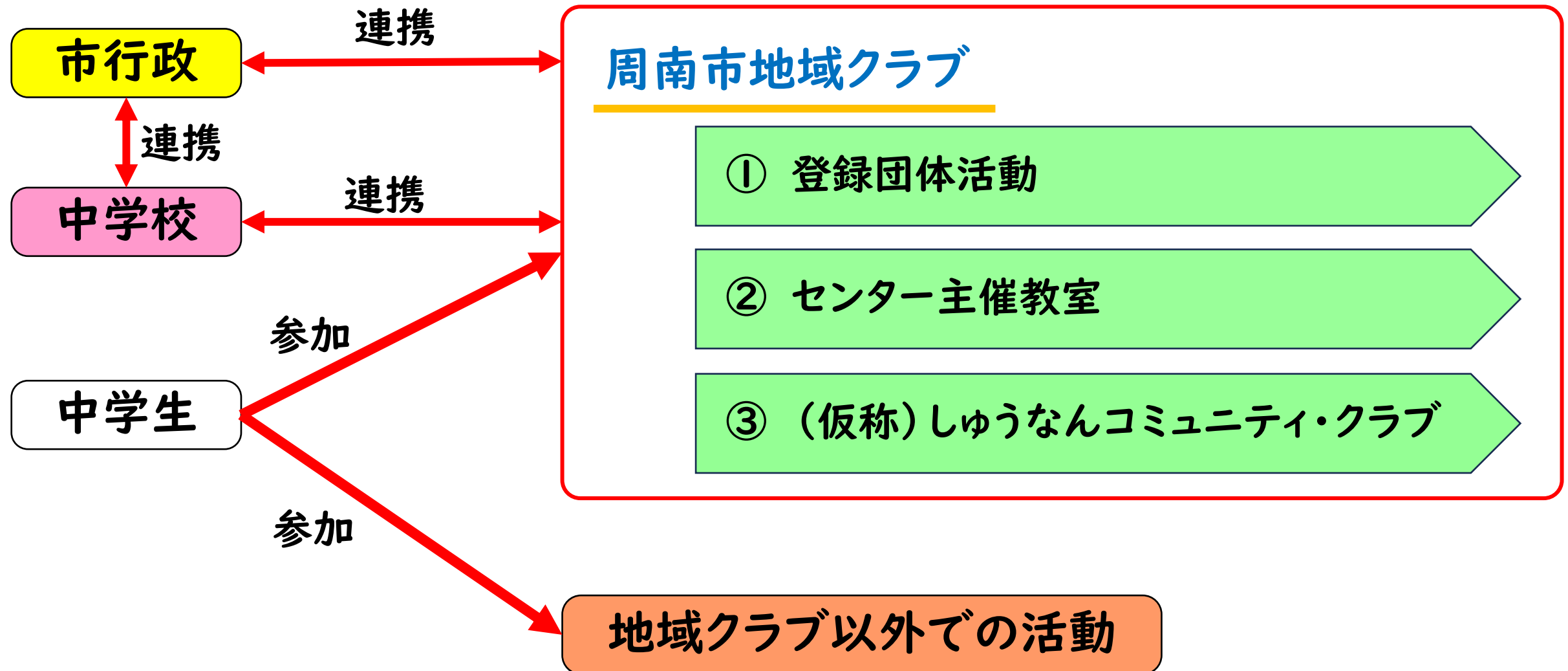
公益財団法人周南市文化振興財団内

かるちゃあサポートセンター
(文化芸術活動関係事務局)

公益財団法人周南市スポーツ協会内

スポーツ活動サポートセンター
(スポーツ活動関係事務局)

※各センターは、令和7年4月に設置予定



① 登録団体活動

各センターに登録する文化芸術・スポーツ団体

総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、競技団体、クラブチーム、
プロスポーツチーム、スポーツ振興会、スポーツ推進委員協議会、文化芸術団体、
市民センター定期講座団体、民間事業者、高等学校、高等専門学校、大学、
社団法人、NPO法人、地域学校協働本部や保護者会、同窓会など、多様なもの

活動の概要、参加方法、負担等

※青字はすでに登録している団体

- 活動日、活動時間、活動場所、活動費、指導者報酬など、すべて団体が設定
- 参加者は、活動費、保険加入費、移動を自己負担

① 登録団体活動



ポータルサイトのQRコード

R7.3.17 までの登録状況

●文化芸術関係 **39** 団体 (事前調査時 約40団体)

華道、書道、茶道、クラシックバレエ、吹奏楽、科学教室、編み物、
和裁、ラジコン など

●スポーツ関係 **56** 団体 (事前調査時 約60団体)

空手道、柔道、相撲、バレーボール、バスケットボール、軟式野球、
サッカー、陸上競技、eモータースポーツ、ダンス、レスリング など

② センター主催教室

各センターが随時開催する講座・教室

登録活動団体以外の分野や活動が少ない地域での教室
より専門的な体験機会の提供 など

活動の概要、参加方法、負担等

- 開催日、開催時間、場所、参加費など、すべてセンターが設定
- 参加者は参加費（保険費含む）、移動費を自己負担

周南市委託事業

スポーツ活動体験会

周南市の中学校部活動は令和8年度で廃止され、地域のクラブ活動が自ら進んで活動できるようになります。

※詳しい体験内容は裏面で確認してね！

～日時と会場～

11月23日 (土)	9:00～11:00	熊毛中学校
11月30日 (土)	9:00～11:00	鹿野中学校
12月8日 (日)	9:00～11:00	須々万中学校
12月15日 (日)	9:00～11:00	桜田中学校
11月27日 (水)	18:30～20:30	ゼオンアリーナ周南
12月4日 (水)	18:30～20:30	ゼオンアリーナ周南

参加料 500円（保険料含む）／1人1日 対象者 市内の小中学生とその保護者及び地域の方

定員 各回50名（先着順） 申込 専用申込フォームより申込（下記QRコード参照）

持参物 体育着・シューズ・水筒・タオル・参加料

協力 周南市立大 Core Studio 106 メディカルフィットネス周南MS トレーニングスタジオジズクラット LYNX 周南地区ハンドボールクラブ (JHC TRIVISTA) 中津パドミントンクラブ KAZUKEN TRIVISTA周南クラブ 周々万サッカークラブ STUDIO NIKKO 周南市レクリエーション協会

主催：周南市（公財）周南市スポーツ協会 0834-28-0006
【お問合せ先】（公財）周南市スポーツ協会 taiky@shunan-taikyo.or.jp

部活動地域移行実証事業

プロに学ぶ恵方巻きクッキング

これであなたも小さなシェフ！

2025年 2月2日 教室 10:00～14:00（受付 9:30）
学び交流プラザ 調理室

講師 竹岡 剛郎 恵方巻料理長 河村 健太郎 恵方巻料理長

対象 周南市内の小・中学校 5・6年生、中学生 参加費 1,800円 定員 20名（先着順）

持ち物 エプロン、三角巾またはバンダナ、マスク、参加費

予約 周南市文化会館にて電話受付 1/24（金）17:00 締め切り 周南市文化会館 tel.0834-22-8787

センター主催教室の開催実績

年度	主催教室	回数	参加者数	開催場所
令和5年度	スポーツ・文化活動体験会	7回	163人	須々万中、鹿野中、熊毛中、桜田中
令和6年度	スポーツ活動体験会	13回	252人	須々万中、鹿野中、熊毛中、桜田中、ゼオンアリーナ周南ほか
	スポーツ教室	2回	227人	周南公立大、ゼオンアリーナ周南
	移動文化教室	2回	244人	徳山商工高、沼城小
	文化芸術講座	2回	63人	文化会館
	美術鑑賞会	3回	1,164人	文化会館、美術博物館
計		29回	2,133人	

令和5年12月23日（土） 学び・交流プラザ

■ 周南市地域クラブに係る方針説明

■ 基調講演

講 師 松田真二さん

（広島トップスポーツクラブネットワーク理事長）

■ パネルディスカッション

文化・スポーツの大転換期

～これからの周南市の姿～

■ 参加者 153人

■ 主催 市・公益財団法人周南市スポーツ協会

令和7年2月23日（日） 文化会館

■ 地域クラブ見本市
（文化芸術体験コーナー）

■ 基調講演

講 師 小森慎也さん

（滋賀県守山市民ホール副館長）

■ パネルディスカッション

世代をこえて文化・スポーツを楽しもう

～部活動の地域移行に向けて～

■ 主催 市・公益財団法人周南市文化振興財団

(仮称) しゅうなんコミュニティ・クラブ

③ (仮称) しゅうなんコミュニティ・クラブ

中学校区を単位として、放課後の時間帯に、中学生が学校等に「**つどい**」、自分たちで話し合って計画を「**つくり**」、地域の中で多世代とも「**つながって**」活動するクラブです。

中学生の「**やってみたい**」を応援する体制づくりを目指します



中学生が中心となって企画

かるちゃあサポートセンター
スポーツ活動サポートセンター
地元学生 連携協力 地域住民



活動日、活動時間、活動場所は
コミュニティ・クラブごとに設定

クラブ活動

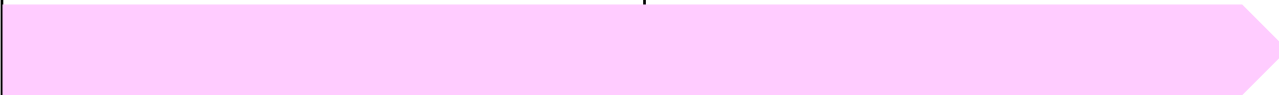


令和6年度に秋月中学校で行った
実証事業の様子

今後のスケジュール(令和6年度 中学1年生)

2024(令和6)年度		2025(令和7)年度	2026(令和8)年度	2027(令和9)年度
現在の学年	中学1年生	中2	中3	
		中3の夏まで「学校部活動」に所属できます。 ※学校により異なります。		
				
		中2の春から「登録団体活動」「センター主催教室」に申し込むことができます。		
				
		中3の春から「(仮称)しゅうなんコミュニティ・クラブ」が発足します。		
				

今後のスケジュール(令和6年度 小学6年生)

2024(令和6)年度		2025(令和7)年度	2026(令和8)年度	2027(令和9)年度
現在の学年	小学6年生	中1	中2	中3
		中2の夏まで「学校部活動」に所属できます。 ※学校により異なります。		
				
		中1の春から「登録団体活動」「センター主催教室」に申し込むことができます。		
				
		中2の春から「(仮称)しゅうなんコミュニティ・クラブ」が発足します。		

今後のスケジュール(令和6年度 小学5年生)

2024(令和6)年度		2025(令和7)年度	2026(令和8)年度	2027(令和9)年度
現在の学年	小学5年生		中1	中2
			中1の夏まで「学校部活動」に所属できます。 ※学校により異なります。	
				
			中1の春から「登録団体活動」「センター主催教室」に申し込むことができます。	
				
			中1の春から「(仮称)しゅうなんコミュニティ・クラブ」が発足します。	
				

小学5・6年生及び中学1年生を対象に、右のチラシを配布しています。

(※対象学年以外の学年にも周知可能としています)
チラシには、以下の3つを紹介しています。

- ・周南市の部活動改革の動画
- ・周南市の部活動改革についてのQ&A
- ・センターポータルサイト

動画は、岐陽中学校の放送部の生徒が声を担当しています。ぜひ、ご覧ください。

令和8年度に「学校部活動」は廃止となり、「周南市地域クラブ」がスタートします

周南市では、関係団体等と連携し、子どもたちが文化芸術・スポーツ活動を継続して親しみ、楽しむことができる環境づくりを進めています。

■周南市の部活動改革について

周南市の部活動改革について、動画(約15分)で説明しています。

動画は、右の二次元コードでご覧になることができます。

【URL】 <https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/58/107366.html>でもご覧になれます。



■周南市の部活動改革についてのQ&A

市ホームページには、部活動改革についてのQ&Aを掲載しています。

Q&Aは、右の二次元コードでご覧になることができます。

【URL】 https://www.city.shunan.lg.jp/uploaded/life/125267_350919_misc.pdfでもご覧になれます。



■各センターに登録された団体の紹介について(「周南市地域クラブ」の紹介)

周南市地域クラブの情報は、「かるちゃあサポートセンター」「スポーツ活動サポートセンター」が運営するポータルサイトで紹介されます(本格運営開始は、令和7年4月から)。

ポータルサイトは、右の二次元コードでご覧になることができます。

【URL】 <https://www.shunansupport.com/>でもご覧になれます。



< 令和7年2月20日までの登録状況 >

○文化芸術関係 36団体

華道、書道、茶道、クラシックバレエ、吹奏楽、科学教室、編み物、和裁、ラジコン など

○スポーツ関係 54団体

空手道、柔道、相撲、バレーボール、バスケットボール、軟式野球、サッカー、陸上競技、eモータースポーツ、ダンス、レスリング、ハンドボール など

【お問い合わせ先】

(公財)周南市文化振興財団 (0834) 22-8787 (公財)周南市スポーツ協会 (0834) 28-0006
周南市教育委員会学校教育課 (0834) 22-8542

部活動改革に伴う本市の目指す姿

課題

中学校

- ・少子化により部活動の維持が困難
- ・中学生のニーズの多様化

文化芸術・スポーツ団体

- ・人口減少・高齢化による人材不足
- ・団体活動の縮小・団体数の減少

対策

- ・多種多様な活動を選択できる機会の確保
- ・主体的に行動できる中学生の育成
- ・中学生のやってみたいに応えられる環境づくり

- ・中学生の参加に伴う人材の確保
- ・団体活動の活性化、創出の促進
- ・みんなのやってみたいに応えられる環境づくり

目指す姿

全ての市民

1. 生き抜く力、社会性を身につけた人材の育成
2. こどもまんなか社会の実現
3. 文化芸術・スポーツの振興によるシビックプライドの醸成
4. 文化芸術・スポーツ活動が生涯を通じて生活の一部になる、生きがいの創出
5. 魅力、活力ある地域づくりによる定住促進

